

2019年1月17日

**プラスチック廃棄物問題解決に取り組むグローバル・アライアンス**  
**「Alliance to End Plastic Waste」への参画について**

株式会社三菱ケミカルホールディングス

株式会社三菱ケミカルホールディングス（本社：東京都千代田区、社長：越智 仁、以下「当社」）は、環境、特に海洋におけるプラスチック廃棄物問題の解決を目的として世界各国の企業により設立される「Alliance to End Plastic Waste」（以下「AEPW」）に、Executive Committee メンバーとして参画することをお知らせします。

当社は、AEPW の設立メンバーです。AEPW は、現在、P&G、BASF、Shell Chemicals ほか南北アメリカ、欧州、アジア、アフリカ、中東など約 30 の企業で構成されており、当初の 5 年間で計 15 億ドルを投じ、プラスチック廃棄物の抑制、管理、また使用後のソリューションを推進する施策を展開します。

本アライアンスは、化学品、プラスチックおよび消費財メーカー、小売業者、加工業者、廃棄物管理会社など、バリューチェーン全般にわたる企業で構成される非営利団体です。政府、国際機関、企業、NGO、地域社会と協力して、今後 5 年間にわたって投資やプログラムをサポートし、環境におけるプラスチック廃棄物を削減するとともに、以下の 4 つの主要分野での取組みを支援します。

- 廃棄物の管理やリサイクルを促進するためのインフラ開発
- 使用済みプラスチックのリサイクル・回収を容易にし、すべての使用済みプラスチックから価値を創造する新しい技術を開発するためのイノベーション
- 政府、地域社会、企業、個人にいたるあらゆるレベルで本問題に取り組むための教育
- 環境中のプラスチック廃棄物が集中する地域、特に河川など陸上の廃棄物を海に運ぶ主要なルートのクリーンアップ

当社グループは、「人、社会、そして地球の心地よさがずっと続いていくこと」を「KAITEKI」と表現し、この実現をビジョンとして企業活動を展開しています。さまざまなプラスチック素材を世の中に提供する化学産業の一員として、当社は AEPW において主導的役割を果たしていきます。

また、当社は、AEPW への参加を自らの責任として捉えるだけでなく、イノベーションの機会、すなわち社会に対し価値を創造するチャンスと考えています。プラスチック廃棄物問題への取組みを支援するとともに、サーキュラーエコノミーと将来の世代への持続可能な未来に向けて、アライアンスの参画企業や賛同者とともに、この挑戦に取り組んでまいります。

※AEPW の詳細については、[www.endplasticwaste.org](http://www.endplasticwaste.org) をご参照下さい。



以上

お問い合わせ先  
株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室  
電話：03-6748-7140